

## パーキンソン病、パーキンソン症候群の患者さまへ ご協力をお願い

研究機関名：社会福祉法人豊田済生会今治病院

診療科名：脳神経内科

研究代表者：脳神経内科 野元 正弘

### 1. 研究の概要

#### 1) 研究の背景および目的

パーキンソン病は、脳内の神経伝達物質ドパミンの産生が減少することで手足の震えなどが起きて体が動かしにくくなります。4大症状として(1)安静時振戦、(2)筋強剛(筋固縮)、(3)無動・寡動、(4)姿勢反射障害を特徴とします。発症年齢は60歳代に多く、高齢になると発病率が増加します。原因は脳神経に $\alpha$ シヌクレインというたんぱく質が凝集して溜まりドパミン神経細胞数が減少する場合の多いことがわかっています。いろいろな原因で $\alpha$ シヌクレインが溜まることからパーキンソン病の経過や治療効果は同じではなく、複数の病気の集まりと考えられます。また、様々な原因でパーキンソン病に類似する症状を起こす病気をパーキンソン症候群と呼んでいます。同じ症状でも経過のよい、病気の進行のしにくい方もある一方で、進行の比較的に早い方もおられますが、その理由はよくわかりません。このことからパーキンソン病およびパーキンソン症候群の方の経過や合併症、発症年齢等から、病気の経過に影響があると考えられる因子を探索し、今後の治療や発症予防に繋がたいと考えています。

#### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

パーキンソン病および関連疾患患者さんの発症年齢、仕事、生活環境、合併症など影響があると考えられる因子の探索をすることにより、発症を遅らせる方法や進行を抑制する治療に貢献できると考えています。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

当院脳神経内科に受診歴のあるパーキンソン病、およびパーキンソン症候群の方

#### 2) 研究期間

臨床研究倫理委員会承認後～2024 年 3 月 31 日

#### 3) 研究方法

当院脳神経内科を受診されたパーキンソン病、およびパーキンソン症候群の方のカルテからの情報収集

#### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの特定にいたる個人情報には削除し、匿名化して研究を行いますので、あなたの個人情報が公開されることはありません。

- 年齢、性別
- 発症時期、自然歴
- 合併症、既往歴

#### 5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、当院内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、臨床研究倫理審査委員会に申請し承認を得て行います。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報をわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

済生会今治病院 脳神経内科

氏名：野元 正弘

電話：0898-47-2500（平日：9 時 00 分～17 時 00 分）

ファックス：0898-48-5096